

<訪問看護>

○訪問看護のユーザーからの主なご意見・ご感想

・看護師さん一人一人はよく頑張っていると思います。しかしながら一人一人の技量、知識はやはり差があるように感じます。

・相談した事にすぐにこたえて下さる姿勢が、とても心強いです。重い患者をかかえた家族は本当に大変で心身がすり減る思いで暮らしています。

・看護師の年齢、訪問看護の経験年数によって技術面、知識面に差があるのは仕方ないが、担当者として固定しないで色々な看護師さんに来て頂きたい。それぞれ見方が違うと思うから。

・病状説明の際の言葉づかいについて「こういう人達の場合」という表現で説明を受ける事があるが、利用者は家族で配偶者です。固有名詞を持っている訳で、ひとくくりの表現をされると違和感と不信感を感じる事があります。間違っただけではないが、固有名詞で呼んでの説明が望ましいと思います。事業所のセールスマンである自覚が必要？

・契約書や重要事項説明書などの説明について、心と体の調子の悪い時は、説明を受けてもわからない。

・基本的に同じ看護師さんが週に何度も来られないきまりがあるようですが、介護者本人にとっては慣れた人が良いと思うし、人間なので気に入った人に何度も来てもらえると家族も嬉しいです。

・本人に対しての言葉使いや扱い方が、認知症の人に対する様で不愉快に感じる事があります。人格を尊重して欲しいです。

・いつもお世話になり有難うございます。介護サービスを受けているリハビリはその人その人で個人差があり、またそれも変化があり、本人も満足しています。例えば同じ方が続いた場合、多少変化のある方法もお願い致します。

・主治医には言いにくいことを、又、どんな些細なこと、日常の不安など親密に聞き入れていただき、セカンドオピニオンのようなアドバイスとケアが行き届き、それが精神的な面にもメリットを感じております。一番助かっているのは入念なマッサージにより、足腰の軽さを味わっております。この制度を全く知り得ず、入院生活と一面違った安心感があり大いに満足しております。

・緊急時の対応にとっても感謝しております。どんな時でもいやな顔ひとつしないで家族の健康にも気をくばって下さり、うれしいです。

・病院とはまた違い、きめ細かく指導して下さるので、こちらから心配な事など気兼ねなくお聞きする事が出来て、とても心強く感謝致して居ります。

・介護している家族から見て現状維持に重点が置かれがちであるが、身体能力を思い出させる、伸ばす看護を共に目指していきたい。

・認知症で寝たきりの実母を介護しています。当たり前に行っていることなど労いの言葉を伝えて下さるのは有り難いと思いますが、訪問の度に繰り返されるのはちょっと。過剰な褒め言葉は返って辛い気持ちになります。一言でいいのです。

・担当者が変更になった場合等早めに連絡頂きたい。複数の方（看護師さん）にお世話になっているが、看護師さんの間の連絡を密にしておいてほしい（たまに連絡があまり出来ていないと感ずることがある）

・訪問してもらえるだけで安心して暮らす事ができています。年配者によっても違うと思いますが、来ていただいていると思うだけで、来訪者の歓迎として迎え入れの気持ちが高まっているようです。人によって合う合わないがありますが、とっても合う方に訪問していただいているので有難いです。知識はもちろん大切ですが、繋がりが信頼へと変わっていき、病気にならない気持ちが育っていると思います。